

二部	教科書 p. 382 ～ 390	組 番	名前	/50
----	---------------------------	------------	----	-----

一 傍線部の漢字の読みを書け。

- (1) 青い瞳の人形。 [] 各1点〔8〕
- (2) 目を凝らす。 []
- (3) 洋服の柄。 []
- (4) 隅の椅子に座る。 []
- (5) 整頓された部屋。 []
- (6) 遠慮がちに言う。 []
- (7) 店が繁盛する。 []
- (8) 肩を揺する。 []

五 次の各組の傍線部の片仮名を、意味に注意して漢字に直せ。

- (1) 身のこなしがヤワらかい。 [] 各1点〔4〕
- (2) 地面が雨でヤワらかい。 []
- 電車をオリる。 []
- 許可がオリる。 []

六 次の熟語と後の【語群】の片仮名を組み合わせ

て四字熟語を作り、漢字に直せ。 各2点〔6〕

- (1) 晴耕 []
- (2) 主客 []
- (3) 泰然 []

【語群】

ジジャク ハクジツ テントウ
ウドク ムチュウ バンライ

二 傍線部の片仮名を漢字に直せ。

- (1) 壁をホシユウする。 [] 各1点〔8〕
- (2) ホコリ高き男。 []
- (3) 毛皮のカンシヨク。 []
- (4) カンバンの文字。 []
- (5) シンシ服売り場。 []
- (6) ダンコとして反対する。 []
- (7) 飛行機のドウタイ。 []
- (8) バクゼンとした目的。 []

七 次の書き出しで始まる小説の作品名と作者を書

け。 各1点〔8〕

- (1) 木曾路はすべて山の中である。 []
- 作品名 []
- 作者 []
- (2) 親譲りの無鉄砲で小供の時から損ばかりして []
- いる。 []
- 作品名 []
- 作者 []
- (3) 国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。 []
- 作品名 []
- 作者 []
- (4) 越後の春日を経て今津へ出る道を、珍しい旅 []
- 人の一群が歩いている。 []
- 作品名 []
- 作者 []

三 傍線部の片仮名を漢字と送り仮名で書け。

- (1) すれ違いをクヤム。 [] 各2点〔8〕
- (2) 観光地をメグル。 []
- (3) 外出をヒカエル。 []
- (4) セマイ道を通る。 []

四 傍線部の漢字の読みを書け。

- (1) ①施術 [] ②施す [] 各1点〔8〕
- (2) ①謙讓 [] ②讓る []
- (3) ①撮影 [] ②撮る []
- (4) ①透明 [] ②透く []